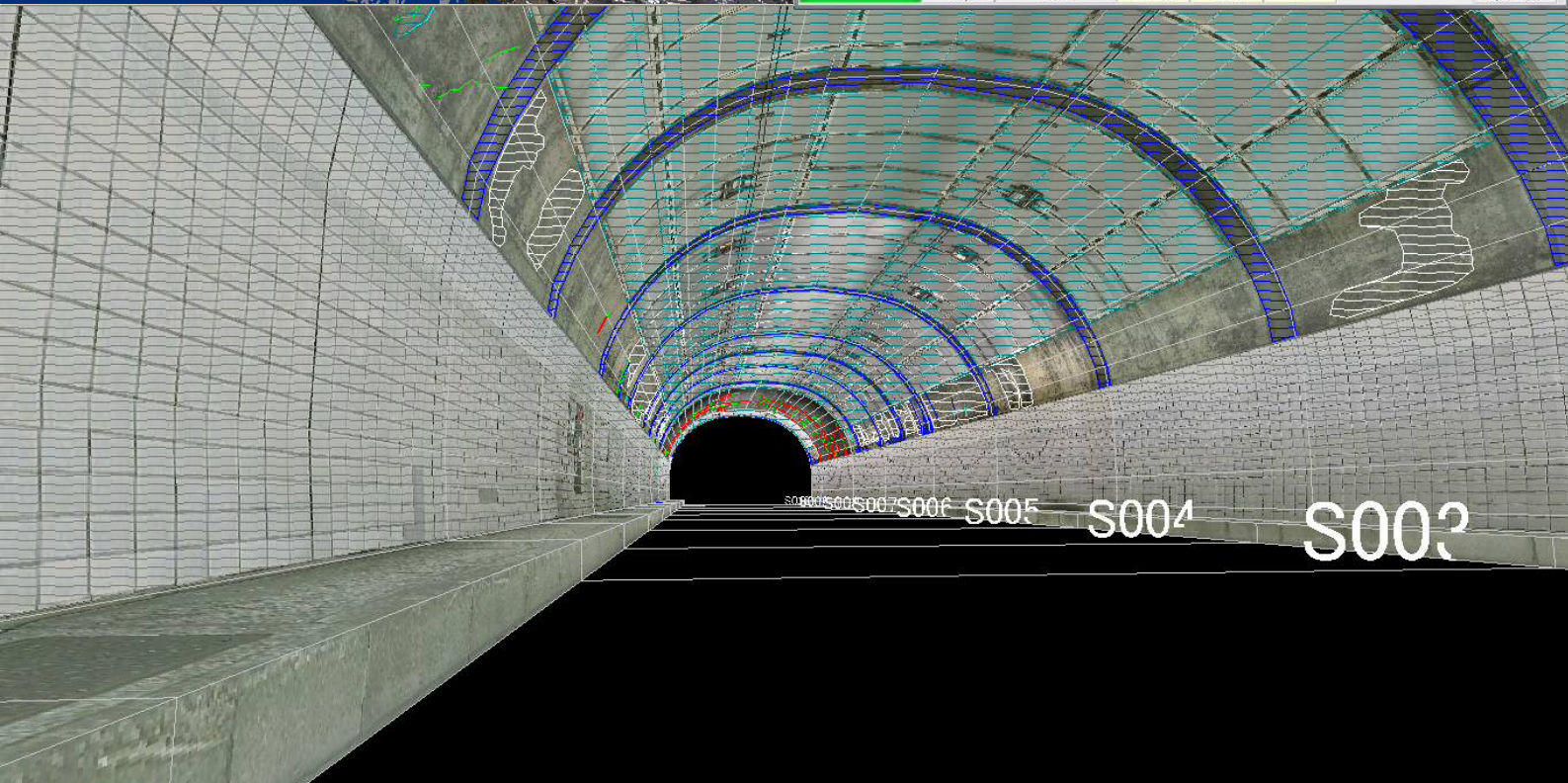
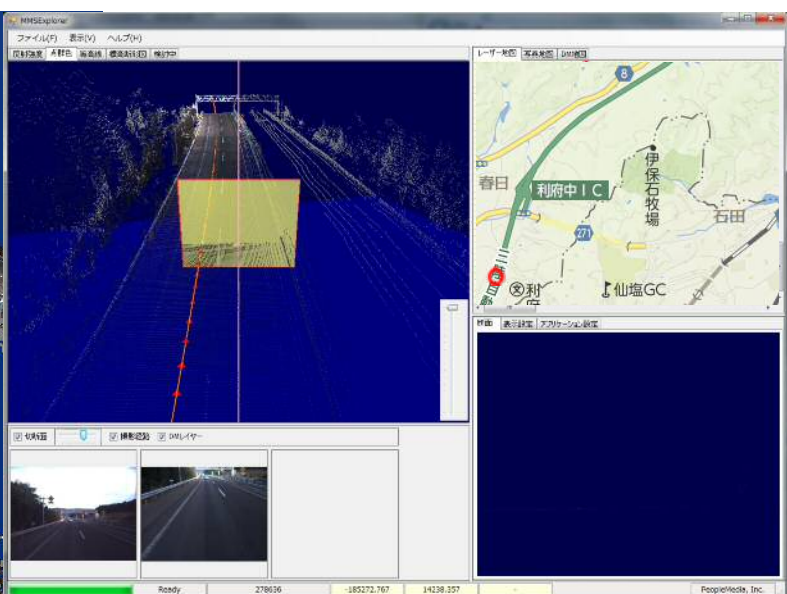




レーザースカナによる 構造物の3次元計測調査



- レーザースキャナにて、公共座標系を付与した3次元点群データ、画像データを取得します。
- 取得したデータと以後の計測結果を比較して構造物の安全性が評価できます。
- 詳細寸法が不明な既設構造物、トラス橋やアーチ橋などの道路橋、トンネル、史跡等、複雑、かつ、あらゆる構造物に適用できます。
- 計測を簡略化でき、被災時等、緊急時にも迅速かつ高精度な変状調査が可能です。
- 3次元点群データを活用した高精度の計測調査と合わせ、これらの点群データを活用した有益な管理方法をご提案いたします。

御用命に応じ、最適な計測手法をご提案いたします。

使用機器例

計測機器はコンパクトです。機材搬入等、特別の配慮は必要ありません。状況に応じた計測方法をご提案いたします。

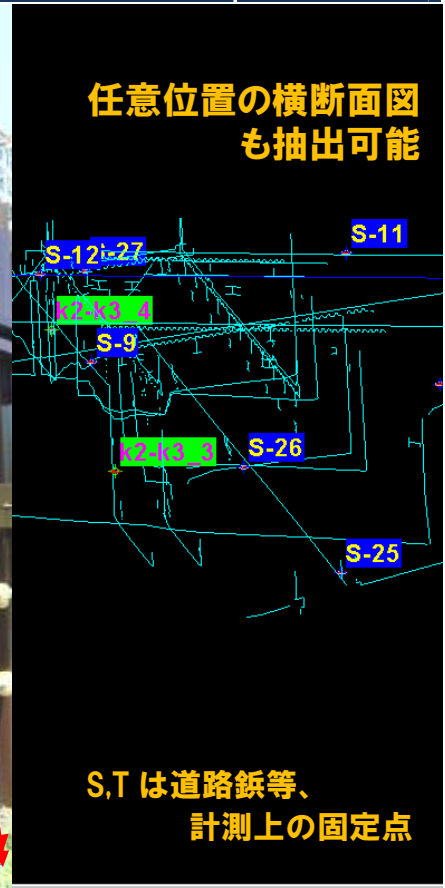
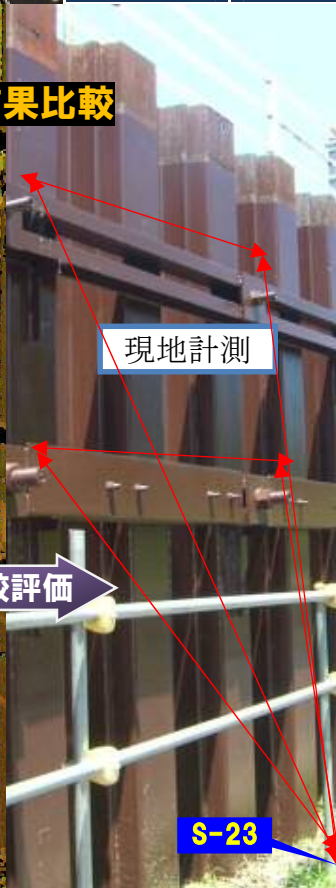
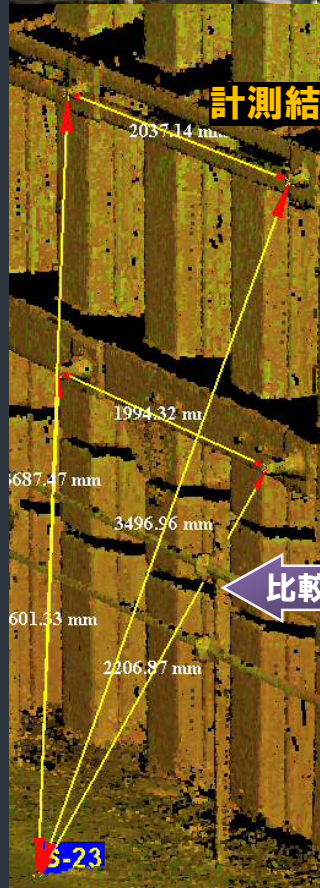


項目	仕様	備考
計測機器	FARO 社製 Focus3D	3Dレーザースキャナ
計測距離範囲	0.6~20m	
偏向ユニット	垂直 305° 水平 360°	
測定速度	最大 976000 ポイント/秒	200 万画素
範囲誤差	±2 mm	
内臓カラーカメラ	最大 70 メガピクセル	

計測事例

公共座標を付与した 3次元点群データ

従来は平面、縦断、横断の各種測量にて初期形状を計測する手法や、特定の箇所に変位計やひずみゲージ、傾斜計を設置し、計測、観測する手法が主流でした。しかしながら、これらの手法では、予め想定した以外の変状に対応できません。3次元レーザースキャナを用いた手法は、構造物全体の形状を全体的、かつ、漏れなく計測することができます。これにより、予め想定し得ないような特殊な変形にも対応し得る新しい計測手法です。



お問い合わせ

- 固定式3次元レーザースキャナ担当
リスクマネジメント事業部

〒112-0004 東京都文京区後楽 2-3-21 住友不動産飯田橋ビル
TEL ; 03-5805-8864 FAX ; 03-5805-8868